

臨床外科 第24巻 総目次

1969年 (第1号～第12号)

〔外科の焦点〕

外科手術と患者管理—開腹手術患者 を中心に—	稲葉 英造	13(1)
肝癌の外科的治療—肝葉切除とその 予後を中心に—	中島 佐一・寺脇 朝治	161(2)
急性虫垂炎の計量診断のその後	四方 淳一・浮島 仁也	455(4)
虚血性心疾患の診断と外科的治療法	白井 治・阿部 弘毅・横田 通夫 日笠 頼則・神崎 義雄	747(6)
気管損傷の診断と治療	三浦 健・羽田野 茂	1193(9)
ペインクリニックによる診断	兵頭 正義	1323(10)
手術感染防止のための設備と滅菌の 技法	原 素行	1467(11)
Refractory shock と肝・門脈系の 役割—エンドトキシンの新しい 定量法に基づいて—	玉熊 正悦	1607(12)

〔特集〕

—人工臓器への歩み—

人工食道	小泉 博義	21(1)
人工弁—その問題点と改良の歩み—	新井 達太	29(1)
人工血管	神谷 喜作	37(1)
人工心臓	桜井 靖久・藤 正 巖・仁田 新一	43(1)
人工関節	山本 龍二	53(1)
人工肝臓・摘出肝灌流	森岡 恭彦・菅原 克彦・荷見 秋彦 小暮 洋暉	61(1)
人工腎臓	檀 上 泰・宮川 清彦・石塚 玲器 田中 信義・佐藤 知義・福本 徹	67(1)

—乳腺疾患—その診療の進歩—

乳腺疾患診療の問題点	島田 信勝	175(2)
乳腺症の臨床	渡辺 弘	179(2)

乳癌の早期診断の要点	泉 雄 勝	187(2)
マンモグラフィによる乳癌の診断	久保 完治	195(2)
超音波断層写真法による乳癌の診断	高橋 勇・高田 貞夫・井上 善弘 岩淵 正之・林 和 雄・川島 健吉 伊藤 久寿	205(2)
サーモグラフィによる乳癌の診断	竹内 新治・吉田 稔・三浦 重人	213(2)
乳癌の細胞学的診断法—特に穿刺吸 引細胞診について—	林田 健男・城 所 仵・相馬 智 瀬戸 律治・後藤 一博・谷 合 明 山川 達郎・片柳 照雄・浅倉 礼治 田村 清孝・百瀬 健彦・近藤 芳夫	221(2)
乳癌手術と遠隔成績	妹尾 亘明・星野 嘉明・富野 捷治 西沢 征夫	231(2)
再発および進行乳癌に対する制癌化 学療法	白羽弥右衛門・酒井 克治	243(2)
乳癌根治手術	山本 泰久	251(2)
—消化器疾患の新しい診断法—		
経皮的経肝性胆道造影法	佐藤 寿雄・斉藤 洋一・武内 脩	303(3)
選択的腹腔動脈撮影—肝、脾疾患を 対象として—	本庄 一夫・鈴木 敏	317(3)
門脈造影	井口 潔・小林 迪夫・朔 元 則	327(3)
胃疾患に対する内視鏡検査および狙 撃細胞診と Punch Biopsy—早 期胃癌を中心として—	城 所 仵・竹添 和英・相馬 智 鶴川 四郎・瀬戸 律治・城島 嘉昭 後藤 一博・山川 達郎・谷 合 明 片柳 照雄・山之内哲雄・中西 宏行 広瀬惇一郎・浅倉 礼治	335(3)
結腸疾患に対する Fiberscopy およ び腸 Biopsy	松永 藤雄・田 島 強・宇野 千春	349(3)

膵・肝胆道疾患ならびに malabsorption

に対する pancreozymin-secretin

試験

瀬川 安雄・竹森 清和・山川 至

竹内 靖・木谷 栄……………359(3)

胆道系疾患に対する超音波診断—と

くに超音波断層像記録法による

胆石症ならびに絨様胆嚢の診断

について—

三 樹 勝・藤島 義一・谷口 恒義

市川 豊・寺岡 資郎・矢部 三郎……………373(3)

シンチグラムによる消化器疾患の診断

菅原 克彦・大野 博通・柏井 昭良

黒田 慧・小暮 洋暉・白倉 徹哉

富山 次郎・森岡 恭彦……………389(3)

—緊急手術適応のきめて—

意識障害

岩 喬・大堀 克己・近 沢 良……………465(4)

ショック状態—救急頭部外傷患者に

ついて—……………平井 秀幸……………475(4)

呼吸困難……………杉 本 侃・土井 康司……………481(4)

吐血, 下血……………村 田 勇・広野 慎介……………489(4)

腹部のいたみ……………藤田 五郎……………497(4)

悪心, 嘔吐……………戸部 隆吉……………503(4)

四肢のいたみ—特に循環障害について—

稲 田 潔・勝村 達喜・林 逸 平……………511(4)

血尿, 尿閉……………堀内 誠三……………519(4)

—臨床麻酔の問題点—

術前状態の把握と前投薬の重要性

—若干の症例を中心に—……………河口 太平……………605(5)

静脈麻酔, 直腸麻酔での注意……………内藤 裕史……………611(5)

脊椎麻酔での注意

大熊 佳晴・浅原 広澄・松 田 功

地葉 幸泰・伊地知紀子……………617(5)

フローセン, ペントレン麻酔時の注意

……………田 中 亮……………623(5)

筋弛緩剤, 昇圧剤の使い方……………美濃部 嶋……………629(5)

イレウス患者の麻酔……………緒方 博丸……………637(5)

高血圧や異常心電図のある患者の麻酔

……………岩 淵 汲……………641(5)

気道内分泌物多量の患者の麻酔……………塩 沢 茂……………647(5)

気管支痙攣と思われる合併症の取り

扱い……………山本 道雄・滝 口 守……………653(5)

大量輸血の注意……………高折 益彦……………659(5)

小児麻酔での注意……………山 本 亨……………669(5)

麻酔直後の患者管理……………渡部 美種……………675(5)

—外科的立場からみた内分泌疾患の治療—

脳下垂体……………谷 栄一・石 島 裕……………759(6)

胸腺……………曲直部寿夫・正 岡 昭……………767(6)

上皮小体……………瀬田 孝一……………775(6)

Basedow 病の外科的治療……………伊藤 国彦……………783(6)

悪性甲状腺腫

降旗 力男・牧内 正夫・野村 節夫

渡辺 豊昭・佐藤 越夫……………791(6)

乳腺疾患……………桑 原 悟……………798(6)

内分泌の立場からみた膵疾患の外科

……………本庄 一夫・水本 竜二……………801(6)

—消化器外科症例集—

胃外科における2, 3の問題

……………亀谷 寿彦・五戸 達雄……………881(7)

腸外科の展望

池田 典次・塩谷 陽介・石 井 勝……………889(7)

特発性食道破裂の1 治験例

織畑 秀夫・太田八重子・別府 俊男

倉光 秀磨・山中 爾朗・荒井 康温

鈴木 睦郎・赤羽根 巖・飯田 直衛

仙 頭 茂……………901(7)

特発性食道拡張症様症状を呈した

Choristoma の1 例

……………黒 田 俊・赤 田 琢……………908(7)

乳児の両側旁胸骨横隔膜ヘルニア例

浅井 紀雄・中村 一雄・近藤 正太

早野 薫夫・馬場 瑛逸……………913(7)

横隔膜破裂胸腔内腸脱出の2 例

松下 文雄・桑原 元雄・池田 正光

内尾 太郎・大 橋 登……………918(7)

我々の経験した“外科的出血性急性

胃潰瘍”について

吉野 肇一・大槻 道夫・比企 能樹

深見 博也・古谷 健二・石井 良治……………927(7)

胃平滑筋腫の4 例

佐々木 純・竹花 良三・三宅 恒行

菊地 鉄郎・照井 孝臣・小笠原 寿

佐々木高之輔……………933(7)

胃に発生せるいわゆる脂肪肉腫の1 例

鈴木 宗平・有賀 文敏・石郷岡 隆

木村 正方……………937(7)

慢性胃軸捻転症の1 治験例

……………上原 従正・岸 智……………943(7)

新生児胃穿孔の1 手術治験例

小出喜代之・大内 十悟・八賀 昭彦

宮路 浩行・塚 本 宏……………946(7)

若年者胃癌 12 例の検討

長瀬 正夫・石丸 久生・田中 英夫
南 一 明・兼松 雄象・柊 元 洋
杉本 雄三……………950(7)

胃の変形平滑筋芽細胞腫の 1 例

馬場 正三・中山 祐・桑野 研司
小坂 昭夫・小 出 紀……………952(7)

胃癌の卵巣転移……佐藤太郎・倉橋 秀寿……955(7)

胃重複癌の 2 例

大同礼次郎・鹿 野 実・落合 準三
船田 三昭……………959(7)

10 歳台の若年者胃癌の 1 例

……………加藤 金吾・杉山 道雄……964(7)

巨大な十二指腸ポリープの 1 手術例

吉野 肇一・富田 濤児・丸山 圭一
鈴木 卓二・麻痺 章吾・大槻 道夫……966(7)

瀰慢性胃ポリポージスの 1 例——いわ

ゆるメネトリエ氏病——

林田 健男・城 所 仵・大原 順三
竹田 昌暉・荻野 彰久……………970(7)

十二指腸周辺の挫傷後瘢痕による閉

塞性黄疸の 1 例

丹野 俊男・恒 川 晋・森 光 平……974(7)

Insulinoma の 2 治験例——臍動脈造

影と免疫インスリン動態——

富田 濤児・遠 藤 巖・檜原 徳之
小 平 進……………977(7)

軽症虫垂炎(特に非化膿性虫垂炎)の

臨床的および病理組織学的考察

小谷 彦蔵・久野 昂一・譜久原朝男
若葉 久男・司児伊和男……………983(7)

乳児消化管重複症について

内野 純一・奥村 信介・宮川 清彦
川上 静夫・櫛田 正一・上野 冬生
武田 武夫……………993(7)

パイエル板肥大を伴った老人の腸重

積症の 1 例

岩淵 国人・西川 孝戒・新津 勝宏……999(7)

回腸平滑筋腫による乳児腸重積症の

1 手術治験例・石橋 秀昭・矢野 博道……1003(7)

壁外性に発育し腸管内に瘻孔を形成

した空腸平滑筋肉腫の 1 例

橋 村 勇・山辻 英也・火伏 義純
紙野 建人……………1006(7)

合併症を伴った結腸憩室症の 4 例

山田 伸明・宮崎 茂和・大場 正己……1010(7)

直腸平滑筋肉腫の 1 例

山際 裕史・山際 昭男・岩崎 次郎……1015(7)

イレウス症状を呈した腸アニサキス症

一戸 兵部・西 田 進・千田 竜芳
下瀬川 薫……………1018(7)

——良性腫瘍——

良性腫瘍の考え方……………横 山 武……1043(8)

髄膜腫, 神経鞘腫……………吉岡 真澄……1049(8)

頸部良性腫瘍……………洪沢喜守雄……1055(8)

脊髄の良性腫瘍

池田 亀夫・池 田 彬・西郷恵一郎……1061(8)

肺, 縦隔の良性腫瘍

片岡 一郎・三 樹 勝・寺岡 資郎……1067(8)

食道・胃の良性腫瘍

矢沢 知海・井手 博子・藤 本 章……1079(8)

小腸, 大腸の良性腫瘍

……………水上 哲次・高 松 脩……1087(8)

肝, 胆道系の良性腫瘍

菅原 克彦・大野 博通・黒 田 慧
柏井 昭良・小暮 洋暉・白倉 徹哉
森岡 恭彦・田島 芳雄……………1095(8)

膵の良性腫瘍……………土屋 涼一……1107(8)

後腹膜の良性腫瘍……………守 且 孝・吉永 直胤……1117(8)

皮膚および皮下組織に発生した良性

腫瘍……………石 田 啓……1123(8)

泌尿器系の良性腫瘍

宍戸仙太郎・土田 正義・白井 将文
加藤 哲郎・菅原 博厚……………1135(8)

——緊急手術の特技 I.——

急性頭蓋内血腫……………中村 紀夫……1203(9)

脳嵌入……………石森 彰次……1211(9)

気管切開……………石 原 昭……1217(9)

急性心タンポナーデ……………川島 康生……1222(9)

緊張性気胸

早田 義博・萩 原 勁・吉岡 孝明……1227(9)

食道静脈瘤出血……………板谷 博之……1231(9)

横隔膜ヘルニア……………桑 田 建・岡部 郁夫……1237(9)

胃・腸管出血……………長尾 房大・池内 準次……1243(9)

肝損傷……………羽鳥 俊郎・須藤 政彦……1247(9)

脾損傷……………鍋谷 欣市……1251(9)

——緊急手術の特技 II.——

腸穿孔……………白鳥 常男……1333(10)

腎損傷……………瀬川 安雄……1341(10)

急性膵炎……………若林 利重……1347(10)

腸管通過障害……………掛川 功一……1351(10)

先天性食道閉鎖症……………駿河敬次郎……1357(10)

嵌頓鼠径ヘルニア……………香月 武人…1361(10)
卵巣腫瘍茎捻転……………坂内 五郎…1365(10)
末梢動脈閉塞

阪口 周吉・中川 自夫・亀田 正…1369(10)
膀胱損傷……………辻 一郎…1375(10)

一腸瘻の問題点一

腸瘻の目的……………掛川 功一…1477(11)
腸瘻造設の手技……………西村 光郎…1483(11)
救急的腸瘻……………砂田 輝武・佐藤 源…1489(11)
経腸瘻の栄養補給の実際……………小出来一博…1497(11)
人工肛門造設閉鎖の手技……………小平 正…1507(11)
腸瘻閉鎖後の合併症

……………佐藤 博・磯野 可一…1517(11)

外腸瘻の病理と生理

……………葛西 森夫・鈴木 宏志・渡辺 公男
……………大橋 映介……………1521(11)

腸瘻の過誤……………林田 健男・佐治 弘毅…1525(11)

一全身状態と Surgical Risk一

麻酔と Surgical Risk

……………山村 秀夫・清水 礼寿…1617(12)

年齢と Surgical Risk—小児の場合—

……………横山穰太郎・勝俣 慶三・伝田 俊男…1625(12)

年齢と Surgical Risk—老人の場合—

……………林 四郎…1629(12)

高血圧、脳出血、脳軟化の Surgical

Risk と麻酔……………尾山 力・木村 邦文…1633(12)

糖尿病と Surgical Risk

……………植草 実・大場 正己・赤松 隆…1639(12)

心疾患を合併した場合の Surgical Risk

……………浅野 献一…1645(12)

甲状腺機能亢進症の併存—とくに甲

状腺クリーゼについて—……………降旗 力男…1651(12)

出血性疾患(素因)と Surgical Risk

……………別府 俊男…1659(12)

肝障害と Surgical Risk

……………水戸 勉郎・石塚 玲器・江端 英隆

……………葛西 洋……………1669(12)

腎障害と Surgical Risk

……………矢野仙太郎・土田 正義…1679(12)

低栄養と Surgical Risk……………武藤 輝一…1685(12)

かぜと Surgical Risk—乳児外科に

おけるかぜの重要性—

……………里吉 光子・平岩 友道・長島 金二…1691(12)

〔グラフィ〕

アメリカにおける人工心臓……………桜井 靖久……………7(1)

鞭打ち損傷の椎間板造影像

……………平林 洌・河野 通隆・高橋 惇

……………桜田 允也……………155(2)

食道および噴門部のX線二重造影像

……………小林誠一郎・羽生富士夫・山田 明義

……………鈴木 博孝・野本 高志……………295(3)

各種疾患に対する超音波診断の現況

……………高橋 勇・高田 貞夫・伊藤 久寿

……………実藤 哲・戸叶 正俊・井上 善弘

……………岩淵 正之・林 和雄……………449(4)

潰瘍性大腸炎の診断

……………吉雄 敏文・宮下富士弥・高月 正宏……………597(5)

シンチカメラによる脳腫瘍の診断

…………………………半田 譲二……………741(6)

ファイバースコープによる心臓の診断

……………杉江 三郎・村上 忠司・田辺 達三

……………久保 良彦・川上 敏晃・太田 里美

……………富山 三良・横田 旻・橋本 正人

……………町田莊一郎・今井 利賢・杉山 誠……………1037(8)

顔面中央部の骨折とX線像

…………………………田嶋 定夫・原科 孝雄……………1185(9)

大腸非癌性疾患の診断

……………池田 典次・塩谷 陽介・小林 達哉……………1317(10)

医用サーモグラフィ(1) 原理と応用

…………………………藤正 巖……………1461(11)

医用サーモグラフィ(2) 臨床応用と

熱像図のカラー表示

…………………………藤正 巖・桜井 靖久……………1601(12)

〔論説〕

閉塞性黄疸と術後合併症

……………玉熊 正悦・荷見 秋彦・中山夏太郎

……………小泉 澄彦・石山 賢・中野 春雄

……………金山 知新……………81(1)

局所麻酔剤による全身性中毒反応に

…………………………に対する救急処置……………橘 直矢……………91(1)

外科補液に関する研究

……………山本 孝・飯島 登・青山 俊英

……………大西 英胤・中島 弘之……………97(1)

経皮的上腕動脈穿刺法による逆行性

椎骨動脈撮影法—とくに中枢性

前庭障害、脳幹部血管性障害検

索のために行なっているわれわ

れの方法—

長島 親男・大野 恒男・鎌野 秀嗣…263(2)

低血圧時の乳酸代謝および血液酸塩

基平衡の変動について

吉 竹 毅・三枝 正裕・常 本 実

大島 正浩・野口 輝彦・杉尾 準雄…273(2)

ムチうち症二、三の知見

渋谷喜守雄・小川 喜一・大田 早苗…419(3)

各種疾患に対する超音波診断の現況

高 橋 勇・高田 貞夫・伊藤 久寿

実 藤 哲・戸叶 正俊・井上 善弘

岩淵 正之・林 和 雄…543(4)

肝性昏睡に対する交換輸血

早野 薫夫・加藤 正夫・島津 栄一

安藤 充晴・嘉屋 和夫・稲垣 英知…553(4)

小児外科とアルドステロン—とくに

尿中アルドステロンと水分およ

び電解質代謝について—早 坂 滉…695(5)

レーザー・ビームによるヒトの腫瘍の治療

菱本久美郎・土地 邦和・安達 秀治

桜井 靖久・藤 正 巖・渥美 和彦…811(6)

生体接着剤の進歩 I. n-Alkyl

Alpha Cyanoacrylate…松元 輝夫…819(6)

体外循環後の意識障害—自験例, 空

気塞栓を中心に—

原 宏・西山 亘・山崎 達輔…1153(8)

急性末梢動脈塞栓症の手術成績

栗根 康行・上 野 明・丸山 雄二

根 本 曙・多田 祐輔…1259(9)

直腸癌の統計的観察

西島 早見・榊原 幸雄・橋本 常世

仁 井 弘・西 井 博・日下 和昌

中田 昭愷・原田 隆浩・渡辺 英生

小 川 靖…1265(9)

外科的内分泌疾患—ことに診断面に

おける内科からの関与—橘 敏 也…1381(10)

心血管系手術と術後消化管出血

………鮫島 夏樹・塚田 守雄…1391(10)

血管拡張剤と末梢血管疾患

神谷 喜作・小野木 宏・山下富美夫

城 所 仁・竹内 忠孝・浅井 忠亮…1535(11)

胸壁皮下バイパス代用心臓の研究

………田辺 達三…1541(11)

食餌性異常発汗—耳介側頭神経 (Frey)

症候群を中心として—大河原重久…1703(12)

総腸間膜症の経験—自験例 80 例と

本邦文献例の統計的観察—木下 公吾…1712(12)

〔講 座〕

ショックの診断と治療<1>Hypo-

volemic Shock………隅田 幸男…428(3)

ショックの診断と治療<2>Bacte-

rial Shock………隅田 幸男…565(4)

ショックの診断と治療<3>Cardio-

genic Shock………隅田 幸男…708(5)

血管外科入門<1>臨床診断のすず

め方………三島 好雄…850(6)

血管外科入門<2>血管造影手技

………三島 好雄…1292(9)

血管外科入門<3>血管外科手技

………三島 好雄…1427(10)

血管外科入門<4>血管外科の一般

治療法………三島 好雄…1570(11)

循環量維持としての輸液(1) 循環量

維持剤………大谷 五良…1717(12)

〔救急医講座〕

頭部外傷の治療—救急処置から社会

復帰まで—<1>治療プログラ

ム, 外来での処置, 手術適応

………西村 謙一…704(5)

頭部外傷の治療—救急処置から社会

復帰まで—<2>急性期のベッ

ドサイドの治療………西村 謙一…844(6)

頭部外傷の治療—救急処置から社会

復帰まで—<3>重症頭部外傷

患者の経過, リハビリテーショ

ン………西村 謙一…1160(8)

〔座 談 会〕

脂肪静注の臨床的諸問題—Wretling

教授を囲んで—

Arvid Wretling・中 尾 真・広田 和俊

木村 信良 (司会)……1146(9)

〔症 例〕

急性非特殊性局所性腸炎の経験

中 隆・相川公太郎・新野 武吉

倉西 久雄……129(1)

臍ヘルニヤと同一腫瘍内に突出した

先天性左心室の稀有例

島 田 理・三宅 恒行・牧田 俊宜

管野 成弘・進藤 条生……………	135(1)
未熟児先天性食道閉鎖症の1例	
田村 重宏・守屋 荒夫・三 川 宏…	280(2)
右心房内伏針の1例	
高 松 脩・中島 良明・平野 一則	
素 谷 宏……………	283(2)
Insuloma の3治験例	
副島 清治・久保田 寛・岸 部 陸…	575(4)
診断が困難であった踵骨結核の症例	
……………森田 孝文…	579(4)
盲嚢の穿孔をきたせる腸管吻合病の	
1例	
長瀬 正夫・山中 功二・緒方 信雄	
大河原 実……………	719(5)
交通事故による非穿通性肺, 心臓外	
傷の1治験	
小 田 豊・永 井 泉・須田 英明…	723(5)
良性脳圧亢進症の臨床……………	大 塚 顕…857(6)
Milch の尺骨短縮術の経験	
平 川 寛・三浦 基弘・高田 若雄	
村瀬 鎮雄……………	863(6)
Lutembacher 症候群の1手術治験例	
林 久 恵・乃木 道男・檜山 輝男	
小 柳 仁・小林 尚子……………	1166(8)
外傷性横隔膜ヘルニア	
渡 辺 裕・嘉屋 和夫・棚橋 映二	
堅 田 洋・水谷 正信……………	1302(9)
下腿骨骨折に合併した偽性動脈瘤の	
1例……………	田島 達也・下田 四郎…1435(10)
脊髄症状をあらわすことなく終つた	
軸椎へパトームの症例……………	山内 健嗣…1443(10)
馬尾神経部にみられた真珠腫の1例	
高岸 直人・森 永 亨・松崎 昭夫…	1579(11)
腎盂一回腸一膀胱吻合術による治験	
例について	
堀内 誠三・富田 義男・大島 博幸	
横山 正夫……………	1583(11)
両側重複腎盂兼重複尿管を伴つたレ	
ックリングハウゼン氏病の1例	
……………	西本 忠治…1723(12)
全麻時 S.M. の腹腔内使用による無	
呼吸症例	
藤 浪 武・梶山 唯嘉・片山 義民…	1726(12)

〔外科教育を考える〕

医師の卒後教育について(1) 病人こそ	
最良の師……………	織畑 秀夫…1410(10)

医師の卒後教育について(2) 一般市	
中病院における臨床研修	
……………	牧野 永城・三重野寛治…1554(11)

〔患者と私〕

患者・医師相互間の信頼を……………	藤 田 登…108(1)
医は衣なり……………	安藤 正孝…412(3)
患者の人生観を大切に……………	木本 誠二…532(4)
外科医の幸福……………	橋本 義雄…688(5)
町医の歌へる……………	出月 三郎…832(6)
医学界の嘘をなくしてほしい……………	塩月 正雄…1288(9)
救急医療をめぐつて……………	鈴木又七郎…1408(10)

〔海外だより〕

英国における心臓および胸部外科の	
現況……………	石 井 奏…110(1)
パリ消化器病研究所……………	島津 久明…836(6)
西ドイツ留学から帰つて—Ferdinand	
Sauerbruch 病院での2年半	
……………	中川 自夫…1416(10)
アメリカにおける超音波の医学的応	
用の現況—循環器系を主として—	
……………	尾本 良三…1560(11)

〔学会案内〕

113(1), 120(1), 249(2), 552(4), 679(5), 702(5), 799	
(6), 831(6), 867(6), 920(7), 1022(7), 1059(8), 1075	
(8), 1112(8), 1345(10), 1402(10), 1549(11)	

〔外国文献〕

116(1), 411(3), 416(3), 540(4), 690(5), 839(6), 1285	
(9), 1290(9), 1419(10), 1563(11)	

〔学会印象記〕

第27回日本脳神経外科学会……………	景山 直樹…105(1)
第9回日本肺癌学会……………	早田 義博…534(4)
第69回日本外科学会総会印象記	
脳外科領域……………	東 健一郎…1275(9)
心臓外科領域……………	田辺 達三…1277(9)
消化器外科領域……………	草 間 悟…1279(9)
小児外科領域……………	池田 恵一…1281(9)
移植・人工臓器……………	富田 正雄…1283(9)
第18回東日本臨床整形外科学会	
……………	玉置 拓夫…1551(11)

〔アンケート〕

鞭打ち損傷の治療はどうしているか	
------------------	--

<解答者>

森 惟明・岡崎 清二・桜田 允也
吉良 貞伸

<アンケート解説>……………林浩 一郎…124(1)

肝機能下降の患者の麻酔はどう

するか……………国友 桂一…674(5)

〔臨床メモ〕

N₂O による水頭症の診断……………松角 康彦…42(1)

下肢の急性動脈閉塞症の治療……………八木 博司…371(3)

僧帽弁狭窄症と塞栓症……………寺 本 滋…502(4)

ステロイド大量投与法とその副作用

の防止法……………原田 範夫…668(5)

Gas Endarterectomy について……………村上 忠司…789(6)

Calot's triangle の確認……………鶴見 清彦…817(6)

〔書 評〕

病人と病氣—医師たちは考える……………長 尾 透…66(1)

内科医のための骨関節疾患の診か

た……………柴田 一郎…114(1)

Spezielle Magen Chirurgie……………村上 忠重…115(1)

Surgery of the Head and Neck

……………藤野 豊美…140(1)

急病……………渡辺 良孝…193(2)

Herz Chirurgie beim Säugling und

Kleinkind……………岩 喬…229(2)

図説 筋の機能解剖……………鎌倉 矩子…271(2)

Cooperative Study on Cardiac

Catheterization……………橋 本 勇…414(3)

自己免疫疾患……………畔柳 武雄…414(3)

急病……………山形 敏一…415(3)

Atlas of Gastrointestinal Surgery

……………青柳 安誠…538(4)

肺循環障害……………大国 真彦…538(4)

新生児の消化器疾患 新生児学叢

書<10>……………伝田 俊男…539(4)

図説 消化器の細胞診……………城 所 仵…560(4)

Handbuch der Verkehrsmedizin

unter Berücksichtigung aller

Verkehrswissenschaften……………洪沢喜守雄…645(5)

血液水分の研究……………吉川 春寿…635(5)

酵素検査 日常検査法の基礎知識

シリーズ<1>……………古川 俊之…657(5)

Comparative Cellular and Species

Radiosensitivity……………本城市次郎…834(6)

Atlas of Gastrointestinal Surgery

……………榎 哲夫…834(6)

図解 常用外科手術……………石川 幸雄…835(6)

図解 診断のための検査の進め方

……………阿 部 裕…835(6)

Proceedings of the European Dialysis

and Transplant Association

……………水戸 勉郎…1086(8)

図解 心臓病の総合診断……………榊 原 仵…1133(8)

Fourth World Congress of Anesthe-

siologists……………小林 建一…1221(9)

診断のための検査の進め方

……………藤沢 正輝…1300(9)

The Artificial Cardiac

Pacemaker……………堀 原 一…1415(10)

図解 心臓病の総合診断……………戸山 靖一…1340(10)

図解 心臓病の総合診断……………木村 栄一…1473(11)

Cardiovascular Surgery 1967

……………横山 正義・新井 達太…1504(11)

図解 常用外科手術……………藤田 五郎…1649(12)

Anaesthesiology & Resuscitation

Vol. 25……………洪沢喜守雄…1657(12)

Vol. 31……………洪沢喜守雄…1683(12)

血液水分の研究……………阿部 正和…1697(12)